

また調べる方法についてもいろいろ問題点がで  
て、適切な運動の量をねらった指導の資料をえる  
ため、この方法の改善点などまとめることが出来

ない現状なので、現在までの実践例や学年で話し  
合われた問題点、感想、反省などをあげました。

適当な運動量をねらっての学習指導略案と実践記録一覧表

| 日 時                               | 教 材 と<br>そ の 順<br>時 間              | 本 時 の 工 夫                                          | 本時の反省 |             | 観点別チェック式反省 |             |                  |                       |                       |                       |                  |  | そ の 他 |
|-----------------------------------|------------------------------------|----------------------------------------------------|-------|-------------|------------|-------------|------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|------------------|--|-------|
|                                   |                                    |                                                    | 反省事項  | 総<br>自<br>評 | 疲<br>労     | 満<br>足<br>感 | 学<br>習<br>内<br>容 | 次<br>時<br>の<br>学<br>習 | 顔<br>色<br>や<br>皮<br>膚 | 呼<br>吸<br>や<br>発<br>汗 | 水<br>の<br>摂<br>取 |  |       |
| 1/15(金)<br>第○校時<br>○°C<br>天候<br>風 | ①○○○○<br>(○分)<br><br>②○○○○<br>(○分) | ・適切な運動量を<br>考えての指導の<br>基盤などを参考<br>として具体的な<br>指導の工夫 |       |             |            |             |                  |                       |                       |                       |                  |  |       |

### 反省の事例をあげて

#### 事 例 I 1 年

##### 1 疲 労

・活動的で性格の明るい者は、生理的の疲れが殆んど行動に現れず逆に気ぜわしく動きまわる傾向があり、その反対の者は、ますます動きがぶくなるので、正確な判定はしにくい。疲れたことよりも空腹のことを先に自覚するらしい。

・小さい児童を外見で判る程疲労させたら、大変なことになるのではないか。

・高い技能を要する運動の場合は、中心になって活動する児童はひどく疲れ下手なために陰にまわっている者は疲れにくい(大体Bとみる)

##### 2 満 足 感

・運動量に主眼をおいて指導を始めた頃は比較的技能の高い者が満足気であったが、最近では低い者も楽しそうな表情が出てきた。(どこまでも気分的にみて)

・生理的にみてどう満足したかと、いうことは測りにくい。疲労は満足の一と見てもよい

かも知れない。給食の摂取量とか翌日の活力とかをみれば或る程度は判るが技能の上達等は大きい目で見ると、身体的満足にあるかも知れない。(大体B)

##### 3 学 習 内 容

・個々の児童の実態の上にたって技能の向上した度合をみないと、学習内容が徹底したとは言えないが、運動内容に、より細かく目標を立てて実行したので、大体よかったと思う。客観的にみて、まだ問題点が残っているとすれば、研究を始めぬ以前の指導がうまくいかなかったせいであろう。

##### 4 次 時 の 学 習

・殆んど影響がないのは、気分的に前時の勝負にこだわったり、個人的感情等その場で忘れてしまうので、気分転換がはやいせいであろう。

・空腹になったために給食をまっているような傾向はみられる(大体B)

##### 5 顔 色 や 皮 膚

肉づきが良くて技能の高いもの——割合に顔色に現われ皮膚にも活気がでる。

・やせていて技能がよいもの——割合に色に